

提供日 2013/05/30
タイトル これまでにない規模で「風しん」が流行しています
担当 危機管理部 危機報道監
連絡先 健康福祉部 医療健康局 疾病対策課
TEL 054-221-2986



—危機管理情報—

これまでにない規模で「風しん」が流行しています

妊娠中の女性が感染すると赤ちゃんに障害が出るおそれのある風しんの累計患者数が、5年前に現在の方法で集計を始めて以降、最も多くなっています。

全国では、本年第20週までの風しん累計患者数（感染症発生動向調査によるデータ）は、既に昨年1年間の累計の3倍を超えています。

本県においても、本年第21週までの風しん累計患者数は、98人となり、既に昨年1年間の累計の5倍を超えました。（昨年1年間の累計は18人）

例年ピークは夏ごろなので、予防接種を受けるなど、感染予防に心がけてください。

感染症発生動向調査（静岡県内医療機関からの全数報告累計患者数）

（5月30日集計）

		第19週 (5/6～5/12)	第20週 (5/13～5/19)	第21週 (5/20～5/26)	年間累計	備考
全国	平成24年	18	29	21	2,392	平成24年第52週までの累計
	平成25年	769	571	6月4日公表予定	7,540	平成25年第20週までの累計
静岡県	平成24年	0	1	0	18	平成24年第52週までの累計
	平成25年	4	10	7	98	平成25年第21週までの累計

1 症 状

- ・風しんウイルスが上気道粘膜から排出され飛沫によって感染します。
- ・潜伏期間は、感染から14日～21日（平均16日～18日）
- ・症状は、突然の全身性の淡紅色の発疹、発熱、頸部リンパ節腫脹を特徴としますが、基本的には予後は良好な疾患です。

2 予 防

- ・ 定期予防接種の対象者の方は、確実に受けてください。
- ・ 妊娠初期に風しんに感染すると、風しんウイルスが胎盤を介して胎児に感染し、出生児に白内障、心疾患、難聴などの障害が起こる先天性風しん症候群を発症することがありますので、

(1) 妊婦の夫、子ども、その他の同居家族

(2) 10代後半から40代の女性（特に、妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い方）

(3) 出産後早期の女性

のうち、予防接種歴が不明な方は、かかりつけの医師にご相談のうえ予防接種を受けましょう。

- ・ 外出後の手洗い、うがいを行うとともに、咳エチケットを守るようお願いします。

《風しんの発生状況等に関する情報》は

◇ 県内の発生状況について

(静岡県健康福祉部 感染症情報センター)

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-420a/center.html>

◇ 全国の発生状況等について

(国立感染症研究所 感染症情報センター)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html>

◇ 風しんと予防接種の安全性について

(国立感染症研究所 感染症情報センター 風しんQ&A)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

などを参考に、最新の情報を入手して、予防に役立ててください。